

令和3年度（2021年度）八王子市立中学校・義務教育学校（後期課程）使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 書写（1/1枚目）

調査の観点	発行者名 東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書出版
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)生徒の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)目標及び内容の押さえ方に対する配慮 ・学習指導要領の書写に関する事項をもれなく指導し、生徒がねらいを主体的に達成できるよう単元を配列している。 (2)生徒の発達段階に対して配慮しているか。 ・知識および技能を系統的に整理し、それらを習得できるよう、学年の発達段階に応じて重点化しながら「書写のかぎ」を各単元に配置している。</p>	<p>(1)目標及び内容の押さえ方に対する配慮 ・学習指導要領の目標と内容がもれなく指導できるようになっている。 (2)生徒の発達段階に対して配慮しているか。 ・生徒の発達段階に即して、系統的に学習できるようになっている。「書いて身に付けよう」「やってみよう」</p>	<p>(1)目標及び内容の押さえ方に対する配慮 ・学習指導要領で求められている指導事項をもれなく習得、活用できるよう編集している。 (2)生徒の発達段階に対して配慮しているか。 それぞれの学年における生徒の発達段階や語彙・言語環境などを考慮した教材選びをしている。</p>	<p>(1)目標及び内容の押さえ方に対する配慮 学習指導要領の書写の指導事項を系統的に学習できるようにしている。 (2)生徒の発達段階に対して配慮しているか。 ・生徒の発達段階に即して系統的、段階的に教材を配列している。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)構成・分量等、生徒の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた配慮 ・単元の目標から振り返りまで表記されており、ねらいを焦点化できる。 ・単元の最後に対話型の振り返りを設定し、学習した内容を知識と技能の両方から振り返ることができる。 ・小中高を意識した教材選定になっている。小学校書道での学習内容の確認や、芸術科書道への関心が高まるよう工夫している。 (2)発達段階を十分に配慮 ・第1・2学年は3つ、第3学年は1つの単元で構成している。 ・AB版。本編112ページ、資料編32ページ。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた配慮 ・学習例を示し、課題のゴールイメージをもちやすくしている。 ・生徒の学校生活や日常生活、社会生活に沿った教材が多く、日常で生かす工夫がある。 ・小中高を意識した教材選定になっている。小学校書道での学習内容の確認や、芸術科書道への関心が高まるよう工夫している。 (2)発達段階を十分に配慮 ・第1・2学年は3つ、第3学年は1つの単元で構成している。 ・B5版。基礎編12ページ、本編68ページ、資料編48ページ。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた配慮 ・単元の目標と振り返りが見開きで表記されており、学習課題を意識しやすい。 ・振り返りで、自分の工夫や気づきを書けたことに焦点を当てており、技術面での成長を意識できるよう工夫している。 ・小中高を意識した教材選定になっている。小学校書道での学習内容の確認や、芸術科書道への関心が高まるよう工夫が見られる。 (2)発達段階を十分に配慮 ・全学年、3つの単元で構成している。 ・AB版。本編99ページ、資料編44ページ。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた配慮 ・目標と振り返りが見開きで表記されており、学習課題を意識しやすい。 ・課題について考えたり、書き方を互いに確かめたりする活動がある。 ・小中高を意識した教材選定になっている。小学校書道での学習内容の確認や、芸術科書道への関心が高まるよう工夫している。 (2)発達段階を十分に配慮 ・第1・2学年は2単元、第3学年は3単元で構成している。 ・B5版。書写ブック36ページ、本編70ページ、資料編47ページ。</p>
<p>3 情報活用能力の育成に関する配慮 をしているか。 (1)生徒の情報活用能力を育む構成となっているか。 (2)生徒一人一人がコンピュータを活用できる工夫がされているか。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 新聞やリーフレットなど多くの情報を内容ごとに整理して、効果的に伝える力を育む単元がある。 (2)コンピュータを活用できる工夫 Dマークを示した単元では学習に役立つデジタルコンテンツを使用することで、運筆動画などを見ることができる。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 「情報誌を作ろう」など、情報収集の仕方やその伝え方などをイラストを用いて分かりやすく学ぶことができる単元がある。 (2)コンピュータを活用できる工夫 QRコードによって動画で参考資料を活用することができ、姿勢や筆の持ち方、運筆動画を見ることができる。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 「掲示物に案内を書く」「新聞を書く」など、自分が習得した情報や、必要なことを正確に効果的に表現する工夫ができる単元がある。 (2)コンピュータを活用できる工夫 QRコードやURLでウェブサイトアクセスすることで、運筆動画などを見られる「まなびリンク」がある。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成 「壁新聞を作ろう」や「冊子にまとめよう」など、情報をどのように集約し、分かりやすく伝えるかを学べる単元がある。 (2)コンピュータを活用できる工夫 二次元コードがある教材では、動画コンテンツを閲覧することができ、用具の準備や運筆動画を見ることができる。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)生徒にとって、読みやすい表現であるか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮 ・硬筆は教科書に書き込む形式。 ・「見つけよう」、「振り返り」が話し合いに結び付く構成となっている。 ・身の回りの表現に気付かせる学習がある。 ・教科書独自のキャラクターが生活に生かすヒントを出している。 ・巻末に「書写活用ブック」がついていて使いやすい。 (2)生徒にとって、読みやすい表現 ・AB判で大きく、毛筆のお手本を1ページで印刷している。 ・112ページ(付録除く)UDフォント、手書き風の明朝体を使用している。黒字多い(学年カラー) ・印刷は鮮明、小さな写真が随所にある。 ・中学生のキャラクター(6人)や教科書独自のキャラクター(穂先)が登場し、漫画的な表現が多くみられる。 ・ユニバーサルデザインで使いやすい。 (3)地域性に対する配慮 ・観光ポスターの書体が紹介され、八王子市のポスターに興味をもたせる展開を考えることができる。</p>	<p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮 ・硬筆は教科書に書き込む形式。 ・「目標」などの言葉はなく、ゴールを示す旗、筆、鉛筆などのアイコンで示す。 ・書体や文字の魅力について話し合う活動がある。 ・身の回りの表現に気付かせる学習がある。 ・手紙の書き方では、細かな点まで丁寧に解説している。 (2)生徒にとって、読みやすい表現 ・B5判で扱いやすい。毛筆のお手本を1ページで印刷している(文字が小さい)。 ・91ページ(付録除く)ゴシック体、UDフォント。オレンジ、緑、青、紫(学年別)を用い、比較的カラフルである。 ・印刷は鮮明、写真の分量は多くない分、字や説明が大きい。 ・教科書独自のキャラクター(筆)を用いている。 ・ユニバーサルデザインで使いやすい。 (3)地域性に対する配慮 ・全国の花火大会のポスター、駅名の看板の書体が紹介され、八王子市のポスターや看板に興味をもたせる展開を考えることができる。</p>	<p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮 ・硬筆は教科書に書き込む形式。 ・達成度を○△などで自己評価できる。 ・情報の整理、課題の設定など、話し合いの手順を美しく図示する学習がある。 ・身の回りの表現に気付かせる学習がある。 ・巻頭に「書写ブック」がついていて使いやすい。 (2)生徒にとって、読みやすい表現 ・AB判で大きい。毛筆のお手本を見開き2ページで印刷している(文字が大きい)。 ・112ページ(付録除く)ゴシック体、明朝体。ピンク、緑、オレンジ(学年別)の2色刷り。 ・印刷は鮮明。大きい写真が多い。 ・教科書独自のキャラクター(師匠)が登場し、学習の手引きをしている。 ・ユニバーサルデザインで使いやすい。 (3)地域性に対する配慮 ・全国紙の新聞の題字、城の石柱に刻まれた書体が紹介され、八王子市の市報の題字や石柱の文字に興味をもたせる展開を考えることができる。</p>	<p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮 ・硬筆は取り外せる書写ブック(ワーク)の形式。 ・別冊への展開を「振り返り」で案内している。 ・「確かめよう」の中に話し合い活動を設定している。 ・「漢字トリビア」で発展的(日常生活に生かす)な内容を知ることができる。 ・はがきの書き方や包み紙の書き方など生活に即した書写について力を入れている。 (2)生徒にとって、読みやすい表現 ・B5判で扱いやすい。毛筆のお手本が見開き2ページで印刷してあり大きい。 ・118ページ(付録除く)ゴシック体、UDフォント。黒字多い(青)。 ・印刷は鮮明。写真や色を抑えて落ち着いた紙面となっている。 ・教科書独自のキャラクター(筆、中学生)が登場し、学習の手引きをしている。漫画家の字、卓球選手のサインなど中学生の興味を引く表現で掲載している。 ・ユニバーサルデザインで使いやすい。 (3)地域性に対する配慮 ・全国文字マップが紹介され、八王子市の市報の題字や石柱の文字に興味をもたせる展開を考えることができる。</p>
<p>5 その他</p>	<p>・活用ブックには「エネルギーに関する新聞」「防災訓練に参加しよう」「多言語対応に関する手紙」等現代的な課題に対する例文を掲載している。</p>	<p>・手書き文字を伝え広めながら、社会で活躍する人を通して職業観を養う工夫が見られる。</p>	<p>・「平和」「美しい自然」「ポスターの書き方」等、教材に使用されている言葉や例文が生命尊重、環境保全に関するものである。</p>	<p>・ユニバーサルデザイン書体についてのコラムを掲載している。</p>